

耐熱樹脂コーティングスプライン スライダタイプ インタミディエイトシャフト

Heat Resistant Resin-coated Spline Slider Type Intermediate Shaft



高温環境下（車室外）で使用可能な、耐熱樹脂をコーティングしたスプライン スライダタイプ インタミディエイトシャフトを開発したので紹介する。

開発の狙い

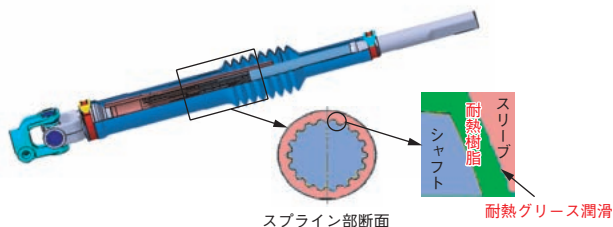
従来の樹脂コーティングスプライン スライダタイプ インタミディエイトシャフトは、自動車のエンジンルーム内や排気管付近などの高温環境下で使用するため、コーティングした樹脂の強度低下や軟化によりクリープ変形をする。そのため、使用による回転方向のすきまの増加量が常温環境下に比べて増えるため、異音などで快適性が損なわれる。

そこで、高温環境下での耐久性を向上させ、快適性を損なわずにスプラインスライダの使用温度領域を拡大させることを狙いとして、耐熱樹脂と耐熱グリースの開発を行った。

	従来品	開発品
使用領域	車室内	車室外
	～85℃	～120℃

特長

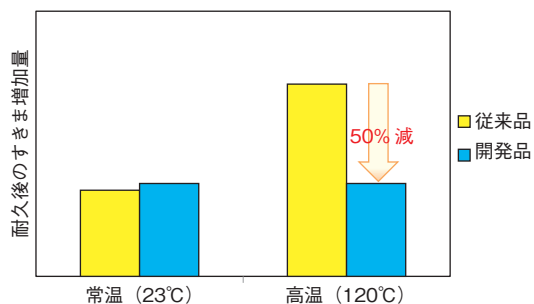
- ①耐熱樹脂
高融点でコーティングに必要な材料物性を有する樹脂材料を使用。
- ②耐熱グリース
耐熱性に優れ、低摩擦で樹脂攻撃性の低いグリースを使用。



性能

高温環境条件下での耐久試験後の回転方向のすきまの増加量は、従来品に対し50%低減。

（従来品の常温環境下での増加量と同等）



耐久性（回転方向のすきま増加量）

（自動車部品事業本部 要素開発部）